

## 蒲郡について

愛知県中部に位置する蒲郡市は風光明媚な観光地である。三河湾に面し、名古屋から電車で 45 分ほどのところにある。その中でも特に有名な名所が**竹島**という小さな島である。竹島は本土と 387 メートルの歩道橋で結ばれており、12 世紀に建てられた**八百富神社**の鳥居へと続いている。竹島全体が八百富神社の森の覆われた境内になっている。橋の本土側周辺は 2 つの有名ホテル、温泉、水族館、公園、博物館、長い海辺の遊歩道、三河湾の海の幸などの特産品を提供するレストランやカフェで構成されるリゾート地となっている。また、竹島エリアは自然豊かな三河湾国定公園の一部である。

蒲郡と竹島が憩いの場、観光の場として広く知られるようになったのは、名古屋の実業家、滝信四郎（1868-1938）が竹島近くの海岸に旅館を建てた 20 世紀初頭にさかのぼる。蒲郡の穏やかな海、浜辺、温泉に魅せられ、谷崎潤一郎（1886-1965）やノーベル賞作家の川端康成（1899-1972）をはじめとする有名な作家たちが、滝の旅館「常磐館」に滞在するようになった。彼らの模範や著作はそれ以来、多くの人々に竹島で休暇を過ごすインスピレーションを与えている。

常磐館は前述の文人に焦点を当てた記念館に取って代わられたが、宿泊でこの地域の歴史

を感じたい人は、由緒ある**蒲郡クラシックホテル**の部屋を予約することができる。竹島と三河湾を見下ろす高台にあるこのホテルは 1934 年に蒲郡ホテルとして開業し、城をイメージした本館と敷地内の 3 つの別館が保存指定されている。竹島近辺のもうひとつの瀟洒なホテルは、オーシャンビューと温泉で知られる海辺の**ホテル竹島**だ。

ホテル竹島に隣接する**蒲郡市竹島水族館**は三河湾とその周辺の海の生き物を、特に深海魚を中心に紹介している。蒲郡は愛知県で唯一の深海漁業船団の母港であり、深いところでは水深 700 メートルの深海で獲れる魚は、蒲郡のローカル料理にもよく登場するほか、浅瀬で獲れる魚介類、上質な牛肉、果物などの食材も味わえる。

竹島への歩道橋の近くにある小さな公園「**俊成苑**」は、公家で歌人の藤原俊成（1114-1204）を記念するものだ。俊成は地域の国司を務めながら、竹島に八百富神社を創建し、後に蒲郡となる集落の開発を始めた人物である。公園内の俊成像の近くには**竹島クラフトセンター**があり、蒲郡の織物生産の長い歴史を学び、伝統的な織物技術を体験することができる。

竹島のすぐ先には大きな無人島、**三河大島**があり、夏には臨時のレストランや売店がオープンし、海水浴客で賑わう。三河大島は竹島水族館に隣接する棧橋から船でアクセスできる。ま

た、蒲郡の郊外や西に位置する西浦半島にもいくつかのビーチがある。